

進路だより‘一期一会’

～ 中学校卒業後の進路は？ あなたの進みたい進路は？ 第2弾！ ～

前回は、高等学校（高校）の種類の内、全日制課程について説明しました。今回は、残りの二つの課程の紹介から始めます。どんどん知識を増やしていきましょう。

高等学校(高校)の種類

2. 定時制課程(昼間または夜間に学習する高校)

事情により、全日制で授業を受けることができない人のために設置されています。一定の時間帯を設けて学習する高校です。午前の部、午後の部、夜間の部などがあります。例えば、松阪工業高校定時制は、夜間（4年間）ですが、午後5時30分頃から4時限の授業を行い、通信制との併修により、3年間で卒業する（三修制）ことが可能です。また、みえ夢学園高校、伊勢まなび高校では、他の部の授業を併修することにより、3年間での卒業が可能です。

3. 通信制課程(自宅学習とスクーリング)

通学して授業を受けることができない人のために設置されています。各自が家庭で教科書や教育テレビ等を利用して学習し、レポートを作成して、学校へ郵送します。毎月2～3回のスクーリング（日曜日に特別活動やホームルーム等）があります。松阪高校では、原則として、4年間で卒業です。

県立高校としては、松阪高校（松阪市）、北星高校（四日市市）にあります。

私立高校としては、全国にあります。

～ 進学先は、高等学校(高校)だけじゃない！ ～

高等学校（高校）の種類については、大体わかったかな？ もちろん、進学先は高校だけじゃないよ。他にも、色んな学校があります。紹介していきましょう。



高等専門学校(高専)

一般的に「高専」と呼ばれている学校です。全国に57校あり、三重県内には、(国立)

鈴鹿工業高等専門学校（鈴鹿市）、(国立)鳥羽商船高等専門学校（鳥羽市）、(私立)近畿大学工業高等専門学校（名張市）があります。高専は、社会が必要とする技術者を養成するために、中学校の卒業生を受け入れ、5年間（商船学科は5年半）一貫教育を行う高等教育機関です。高専を卒業すると、「準学士」（一般的には短大卒業扱い）が与えられ、さらに、専攻科（2年間）を卒業すると、大学生と同じ「学士」の学位が与えられます。また、高専卒業後、大学3年次に編入学する学生もいます。

*高専生は、「生徒」ではなく、「学生」という扱いになっています。

*仕組みが少し複雑なので、詳しく知りたい人は、担当まで質問をして下さい。

専修学校(専門学校)

学校教育法では、「専修学校」は、「職業もしくは実際の生活に必要な能力を養成し、または教養の向上を図る」ことを目的とした教育施設で、修業年限、授業時間数、在籍者数などが規定されています。

専修学校は、3つの過程に分けられ、中学校を卒業した人を対象とする「高等課程」、高校を卒業した人を対象とする「専門課程」（一般的には、これを「専門学校」と呼んでいます）、制限がない「一般課程」に分類されます。中学校を卒業して、美容師や調理師、パティシエなどをいち早く目指す場合は、「高等専修学校」へ進学することができます。通信制高校と提携している高等専修学校は、「技能連携校」として認定され、卒業すると高等専修学校と通信制高校の2つの卒業証書を取得できます。

「一般課程」は大手の学習塾や着付け、美術、英会話、珠算、料理等の専修学校があります。法律の改正に伴い、各種学校のうち、法律の規定を満たし、知事の認可を受けたものを専修学校と言います。

三重調理専門学校、徳風技能専門学校、旭美容専門学校、英心専門学校などがあります。

各種学校

学校教育法に基づいて、「学校教育法の第1条に規定される学校」以外で、学校教育に類する教育を行うもので、所定の要件を満たし、許可されたもの。

津珠算簿記学校、四日市朝鮮初・中級学校、伊勢地区医師会准看護学校などがあります。

職業訓練校

一般的に、都道府県が運営、管理している高等技術学校を指します。以前は、中学校卒業してから入校する人もいましたが、現在では、高卒や一般の方で、技能・技術を身につけ資格を取ることで就職につなげようとする人の入校がほとんどです。この辺りでは、三重県立津高等技術学校（津市高茶屋）があります。希望する場合は、まず中学校を通してハローワークと相談することから始まります。

就職

就職について、中学校としては、松阪ハローワークを通して進めていくことになります。最近では、中学校の卒業生を対象とした求人が厳しくなっていますが、一度、担任の先生と相談してみてください。